

映画の教室 2017

素材から観る日本アニメーション

2017年6月28日(水)、7月5日(水)、12日(水)、19日(水)、26日(水)
全5回、毎週水曜、7:20pm 開始 (約15分の研究員による解説付き)

日本のアニメーションの代表的な作品を一気に観られる！

5回のシリーズで映画を学ぶ！

映画芸術や映画保存を学ぶ上で重要な作品を、フィルムセンターの所蔵作品の中から上映するプログラム「映画の教室」が、2017年度より、**テーマに沿った各5回シリーズ・研究員の解説付きにリニューアル**しました。シリーズを通して観ることで、より一層映画や作品への理解を深めることができます。

リニューアル第一弾は、日本でアニメーション映画が誕生したとされる1917年から本年度で100年を迎えたことを祝して“**素材から観る日本アニメーション**”と題し、『煙草物語』(1924年)から『頭山』(2002年)まで、所蔵作品の中から素材や手法を紹介しながら日本のアニメーション作品を上映いたします。

今や日本を代表する文化にもなったアニメーションは、1コマ1コマ「画」を作り、その膨大な作業の末に生み出されます。表現に応じてさまざまなものが用いられてきた「素材」を追いながら日本アニメーションを研究員の解説付きで学ぶことができる本特集を、ぜひともご周知いただきますようお願い申し上げます。

また、5回のシリーズで映画を学ぶ場として新たに出発した「映画の教室」では、できるだけ5回通してご参加いただきたいの思いから、**混雑時でも各回の開始時間7:20pmまでお席を確保できる会員証**を販売いたします。当日駆け込んでも確実に入場できる本会員証をぜひご活用ください。

*後期は別のテーマで10月11日(水)より全5回、隔週水曜に開催いたします。



★「映画の教室」会員証 = 300円 ※観覧券は各回別途必要です

【特典①】 混雑時でも7:20pmまでお席を確保します。(自由席・開映後の入場不可)

【特典②】 購入時に7階展示「人形アニメーション作家 持永只仁」の入場券1枚、全5回参加完了時には本年度の当館主催上映の入場引換券を1枚謹呈します。

購入方法など、詳しくはこちら→<http://www.momat.go.jp/fc/exhibition/filmclassof2017-animation/#section1-2>

■開催概要

企画名：映画の教室 2017 サブタイトル：素材から観る日本アニメーション

日時：2017年6月28日(水)、7月5日(水)、12日(水)、19日(水)、26日(水) 各日7:20pm 開始 [7:00pm 発券・開場]

会場：東京国立近代美術館フィルムセンター小ホール(地下1階)

料金：一般520円/高校・大学生・シニア310円/小・中学生100円/障害者(付添者は原則1名まで)、キャンパスメンバーズは無料

掲載用のお問い合わせ先：ハローダイヤル03-5777-8600

本企画ウェブサイト：<http://www.momat.go.jp/fc/exhibition/filmclassof2017-animation/>

Film Class of 2017

■プログラム(全5回) *全作品 35mm フィルム上映 *各回、約 15 分の研究員による解説付き

第1回 6月28日(水) 切り紙・影絵アニメーション

日本アニメの先駆者たちが用いた切り紙という手法。カラーセロファンを用いた大藤信郎の『くじら』はピカソやコクトーにも絶賛されたという。影絵映画の代表的名作『お蝶夫人の幻想』や切り紙アニメの最高傑作『月の宮の王女様』など、6 作品を紹介。

上映作品 (6 作品、計 64 分)

黒ニゴロ[デジタル復元版] (3 分、1929 年、作画:大藤信郎)

お蝶夫人の幻想 (12 分、1940 年、構成:荒井和五郎、飛石伸也)

くじら(KUJIRA) [デジタル復元版] (9 分、1953 年、監督:大藤信郎)

お花のおひめさま (18 分、1948 年、監督:荒井和五郎)

幽霊船(YUUREI SEN) [デジタル復元版] (11 分、1956 年、監督:大藤信郎)

新版 月の宮の王女様[サクラグラフィック版] (11 分、1934 年、作画:村田安司)

第2回 7月5日(水) 人形アニメーション

人形などを 1 コマずつ動かして撮影する人形アニメ (パペットアニメ)。日本人形アニメの父と呼ばれる持永只仁はティム・バートンにも影響を与えたと言われている。持永の薫陶を受けた岡本忠成、川本喜八郎の作品と併せて、3 作品を上映。

上映作品 (3 作品、計 61 分)

ペンギンぼうや ルルとキキ (16 分、1958 年、監督:持永只仁)

道成寺 (19 分、1976 年、監督:川本喜八郎)

おこんじょうり (26 分、1982 年、監督:岡本忠成)



ペンギンぼうや ルルとキキ

第3回 7月12日(水) セルアニメーション: 東映動画

東映動画発足のきっかけにもなったセルアニメで、日本で初の長篇カラーアニメ映画。ベルリン国際映画祭、ベネチア国際映画祭で上映もされ、国内外で数々の賞を受賞。

上映作品 白蛇伝 (79 分、1958 年、監督:薮下泰司)

第4回 7月19日(水) セルアニメーション・虫プロ

虫プロが大人向けに製作した「アニメラマ」シリーズの第三弾。原作はフランスの歴史家ジュール・ミシュレの「魔女」。カメラを動かして一枚の静止画を写す手法を多用し、水彩や油彩も用いてフィルムによる絵物語に仕上げている。

上映作品 la sorcière 哀しみのペラドンナ (80 分、1973 年、監督:山本暎一)

第5回 7月26日(水) さまざまな素材と手法

切り紙と実写の合成、抽象アニメ、毛糸など、1924 年から 2002 年までの作品をさまざまな素材とスタイルを追いながら紹介する。

上映作品 (8 作品、計 53 分)

煙り草物語 (3 分、1924 年、監督:大藤信郎)

AN EXPRESSION(表現) (3 分、1935 年、監督:荻野茂二)

PROPAGATE(開花) (4 分、1935 年、監督:荻野茂二)

人間動物園 (2 分、1962 年、監督:久里洋二)

めもりい (6 分、1964 年、監督:手塚治虫)

創世記 (4 分、1968 年、監督:池内辰夫)

りすのパナシ (21 分、1978 年、監督:おかもとただなり)

頭山 Mt.HEAD (10 分、2002 年、監督:山村浩二)



PROPAGATE(開花)



頭山 Mt.HEAD
©Yamamura Animation

【本企画に関するお問い合わせ】

東京国立近代美術館フィルムセンター 事業推進室 広報担当

電話: 03-3561-0823 FAX: 03-3561-0830 E-mail: nfc-pr@momat.go.jp